

医療法人 輝松会

- ・本社所在地 福岡市西区
- ・業種 医療、福祉
- ・事業内容 病院、介護保険施設、クリニック、有料老人ホーム
- ・設立年 1975年
- ・従業員数 380人
- ・テレワーク導入部署 経営管理部
- ・テレワーク導入対象 1~3人



テレワーク導入のきっかけ

安全に効率よく働ける方法を模索

育児休業を利用して仕事を続ける女性職員が、より柔軟な働き方を選択できるように、在宅勤務制度の導入を検討。会社と自宅の両方から効率よく業務を進めるための方法を確立することを目指した。

まずは、複数の事業所に執務拠点がある経営企画部門から試験導入を開始。場所にとらわれず、かつ生産性を落とさずに働くためにはどのような方法がよいのかを探った。

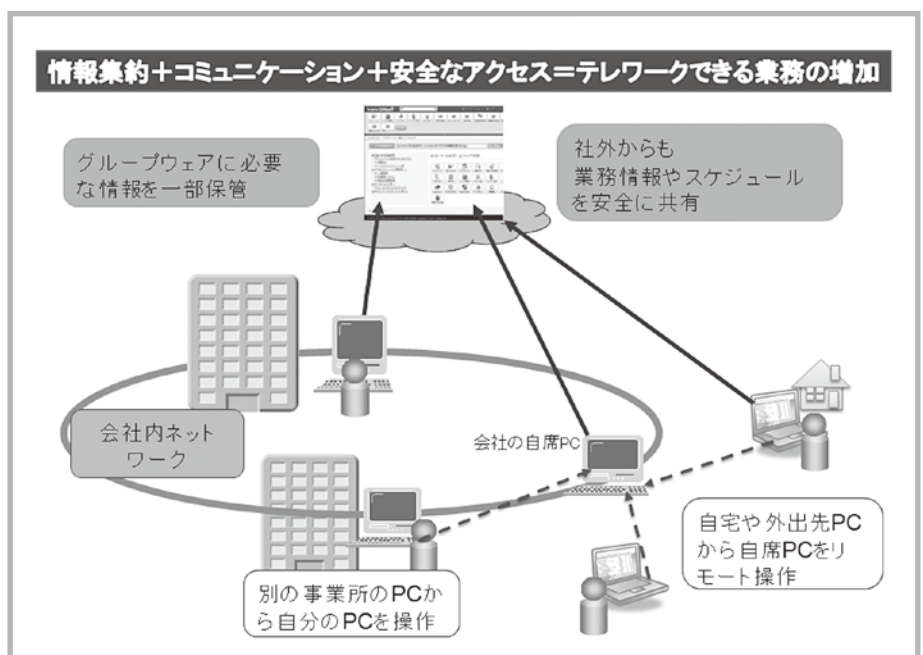
テレワークによる課題解決の方法

クラウドやリモートアクセスツールを利用し、「どこにいても同じ仕事環境」を実現

- ◎ 複数の事業所で業務を行う際にリモートアクセスツールを使用し、メインパソコンを遠隔操作する体制を構築

- データの分散が解消され業務効率が向上した。
- 手元のパソコンに情報が残らず、セキュリティが向上した。

- ◎ クラウド上のグループウェアのカレンダー機能を活用し、職員のスケジュールを共有
 - さまざまな場所で勤務する職員が、業務効率を落とさず就業できる体制が構築された。



テレワーク導入に関する感想・評価



◆企業担当者の感想◆

リモートアクセスを活用することで個人情報を扱う際でも安心

試用期間中、マジックコネクトを使って実際に業務を行いました。遠隔操作といっても、違和感なくパソコン作業ができました。

業務では個人情報を扱うことも多いので、通信が暗号化され、手元のパソコンに一切データが残らないリモートアクセスの仕組みが大変有効でした。

今後は他の部署、他の職種にもテレワークの適用を検討していく予定です。

◆テレワーク導入のポイント◆

「場所にとらわれずに働く」という取り組みの好例

テレワークで生産性の向上を図るポイントの一つは「場所にとらわれずに仕事ができる」ことです。リモートアクセスツールを使って、会社にあるメインのパソコンを遠隔操作できる環境を作ることで、複数の事業所で業務をする場合はもちろん、自宅や出張先で仕事を行う場合でも、手元に情報を残すことなく、安全に効率よく作業ができるようになります。

どこにいても「いつもの仕事」ができるということは、在宅でできる業務の範囲が広がることにもつながり、結果として、より多くの方が在宅勤務をしやすくなる効果も期待できます。

テレワーク導入までの道のり

- 2012年 7月20日 啓発員訪問
- 2012年 7月31日 コーディネーター訪問、ヒアリング
- 2012年 8月10日 コンサルタント訪問、提案書提出
- 2012年 9月25日 社内テレワーク勉強会開催、説明と質疑応答
- 2012年10月29日 コーディネーター訪問、管理部門への導入を具体的検討
- 2013年 1月16日 コンサルタント訪問、ツールの提案
- 2013年 1月31日 コンサルタント訪問、ツール試用結果のヒアリング
- 2013年 3月 6日 コンサルタント訪問、今後の方針確認

導入ツールとコスト(概算)

合計 34,650円(初年度年額)

- リモートアクセスツール
 - ・マジックコネクト(USBキー) 15,750円(初年度のみ)
 - ・マジックコネクト(利用料) 18,900円(年額)
- グループウェア
 - ・サイボウズライブ 無料